



いこい庵(ログハウス)

長沼禅苑 虚空庵便り

第 25 号

令和 6 年 3 月 1 日
発行 (宗)虚空庵 長沼禅苑
潟上市天王字追分117-217
TEL 018-873-7232
FAX 018-873-7233
長沼禅苑ホームページ



皆 様にはお健やかに過ごしのことと存じます。

昨年来、海外では戦争、国内では夏の記録的暑さや大雨、正月の地震など自然災害の発生等に日常の儻さを感じ、心が憂う事が多々ありました。被災各地の皆様にも、一日でも早

く平穏な日々が訪れます様、迅速な復興を願うばかりです。

長

沼禅苑はおかげ様で平成十五年の開苑から今年で二十一年目を迎えました。また平成二十六年に建立した永代供養墓「五輪塔」の個室は、全て契約済みと成り、これも偏にご利用の皆様や地域の皆様のご理解ご協力の賜物と、深く感謝しお礼申し上げます。

当苑は社会の変化の多様さにあっても、皆様のご要望に応えられる様、苑内の環境整備を第一に考え、また来苑者の想いや、心が癒されることを大切にして進んで参りました。様々な方から「綺麗に整備されていますね」とのお言葉を頂き、とても嬉しく思うとともに、より美しい苑にしていきたいという気持ちが強まっております。

現

在、長沼禅苑内の仏堂は、お位牌堂としてお参りいただく場、さらにお葬式やご法事等の法要の場として使用されており、近年の仏事利用者の増加により、仏堂内のスペースは手狭になってきています。また、新型コロナウイルスも5類移行となりましたので、これからは仏事の参列者が一層増える予

想されます。

それらを踏まえ、先代住職も生前念願されていた、信仰の中心となる本堂の建立を現在計画しております。参拝される皆様に安心して法事や仏事を執り行える様、御本尊様を安置し、厳粛な中に荘厳さを感じて頂ける建物として、今後さらに構想を練り取り組んでいきたいと考えているところです。

これからも長沼禅苑は、訪れる方や地域社会にとつて、より良い環境・憩いの場となる様、日々精進してまいります。

住職 村上武臣 合掌

長沼禅苑来歴石碑建立

先代住職の残した偉跡に因み、開苑からの来歴を記した石碑が建立され、令和五年四月十八日除幕式を行いました。

碑には、新しい様式のお墓と現代的な供養のスタイルに相応しい永代供養墓を提供するに至った、当苑開山大英道雄大和尚様の発願成就の経緯を顕した石文が刻まれています。

来苑の際には、是非、石碑の前に佇んで、碑文と背面の受賞歴・辞世の句(和歌)も併せてご一読いただければ幸いです。



【令和五年】一年を振り返って



3月21日 彼岸会



5月14日 写経の会



6月6日 梅花講(御詠歌)



7月31日 盆供養



8月20日 灯籠流し



9月24日 秋彼岸供養



10月14日 終活相談会



12月10日 成道会

場としてお気軽にご利用下さい。

様の「憩い」の場としてお気軽にご利用下さい。

シヨンの場にもなっております。

談のある方等のコミュニケーションの場としてお気軽にご利用下さい。

また、多目的ホールとして坐禅・写経の会、梅花流詠讃歌教室、お箏教室等の開催、さらにお墓を求めに来院される方、相談のある方等のコミュニケーションの場としてお気軽にご利用下さい。

また、多目的ホールとして坐禅・写経の会、梅花流詠讃歌教室、お箏教室等の開催、さらにお墓を求めに来院される方、相談のある方等のコミュニケーションの場としてお気軽にご利用下さい。

「いこい庵」のご案内

長沼禅苑のログハウスは「いこい庵」の名称で長沼禅苑全体の寺務所になっております。開苑当初から安らぎの場として、来院される皆様にあいそびの場として、



植栽紹介コーナー

【彼岸花（ヒガンバナ）】

名前の由来

秋の彼岸の頃に開花することに由来します。別名である曼珠沙華（マンジュシヤゲ）はサンスクリット語が語源で、お釈迦様が法華経を説かれた際に、これを祝して天から降った花（四華）の一つとされ、仏教では天上の花という意味もあります。

特徴

多年生の球根を作る植物で、葉よりも先に地上から花芽を出し、散形花序で真っ赤な六弁の花を放射状（輪状）に数個つけて咲き、花後に花芽が無くなると、葉が束になって伸び出します。葉は緑を保ったまま越冬し、初夏には葉を枯らして地上部は見えなくなりますが、地下の球根に毒性の成分アルカロイドを有するため、モグラやネズミ除けに植えられることがあります。

開花の時期

秋の彼岸の頃
九月中旬～下旬

苑内では、
聖観音様前
五輪塔日本庭園内
風林の杜内散策路
いこい庵の周辺に
深紅の華が咲きます。



坐禅のススメ



坐禅というと、修行・厳しい・足が痛い等、大変だというイメージを抱く方がいるかと思いますが、坐禅は次の三つを要としてただ坐ります。（只管打坐）

- 姿勢を整える（調身）
- 呼吸を整える（調息）
- 心を自然に整える（調心）

皆様も坐禅を体験してみませんか？
長沼禅苑では月二回坐禅会を開催しております。
どなたでも参加でき、足が組めない方はイス坐禅もできます。

◎参加者の感想

- 「初めて経験しましたが気持ちよかったです」
- 「からだ全体がポカポカとあたたかくなった」
- 「すっきりしました」
- 「すがすがしい気持ちになりました」

坐禅会

期 日：毎月第2・第4日曜日
 時 間：午前9：00～
 場 所：虚空庵 長沼禅苑
 参加費：無料

※サークル・団体でのご参加については別途お問合せ下さい。



― 法事の大切さについて ―

大事な人を失った悲しみは、時が過ぎても薄れるものではありません。法事は、故人の冥福を祈る大切な儀式です。亡くなった人を偲び、思い出を共有することで、少しずつ心の整理をし穏やかな気持ちになり、供養に依って安心感を得ることが出来ます。また、普段はなかなか会えない親族縁者が集まり、お互いの絆を深めるとともに、自分達に繋がる先祖からの命を再確認できる機会にも成ります。

近年、法事に対する考え方も変わってきました。従来の人数や形式にこだわらず、簡略化したり、場合によっては行わない方もありますが、大切なのは形式や回数ではありません。故人への感謝と弔う心を忘れない事です。

長沼禅苑では、永代供養墓ご利用の方々から「できる限り自分達も供養をしたい」という声も多くあり、年々法事依頼が増えております。

法事や墓前ご自宅での供養をお考えの方は、長沼禅苑(住職)に気軽に相談ください。

長沼禅苑 TEL〇一八八七三―七二三二
住職携帯 TEL〇八〇一五一九〇―三二六三

主な行持のお知らせ

○お彼岸

春

彼岸入り 三月十七日

彼岸中日 三月二十日(春分の日)

彼岸明け 三月二十三日

秋

九月十九日

九月二十日(秋分の日)

九月二十五日

彼岸会法要は仏堂で読経致します。
尚、読経中もお堂へのお参りは出来ません。

○盆供養

七月二十七日(土) 午前十時〜午後二時 於 仏堂

*今年、新盆を迎える方の施食供養です。

ご供養の申込みについては、後日ご案内いたします。

○秋彼岸供養

※お焚き上げ(焼却取止め)に替わる供養

九月二十九日(日) 午後二時

※日時変更も有 於 長沼禅苑

*卒塔婆・仏具等を読経にて供養し、鄭重に処分致します。

ご希望の方は、前もって供養料(ごろざし)を添えて長沼禅苑までお申込みください。

○成道会

十二月八日(日) 午前十時 於 仏堂

法事年回表 令和六年 年回表

一周忌	令和五年(二〇二三年)
三回忌	令和四年(二〇二二年)
七回忌	平成三十年(二〇一八年)
十三回忌	平成二十四年(二〇二二年)
十七回忌	平成二十年(二〇〇八年)
二十三回忌	平成十四年(二〇〇二年)
二十七回忌	平成十年(一九九八年)
三十三回忌	平成四年(一九九二年)
五十回忌	昭和五十年(一九七五年)
百回忌	大正十四年(一九二五年)

永代供養墓をご利用の皆様へお願い

日頃より「墓参の決まり」を守ってお参りいただいておりますが、昨年のお盆期間中、永代供養墓「風林の杜」内の墓石前でロウソク・線香の使用が確認される事例がありました。この場所は、枯れ葉や枯れ枝等燃えやすいものが多々ありますので、火災を起ささない為に個々の墓前では、絶対に火を使わないようくれぐれもお願致します。

ロウソク・線香をお使いの方は、指定場所(駐車場前)に献花台がありますので、そこに備えてあるロウソク立てと線香立てをお使いください。また、お知り合いの方にも、長沼禅苑にお参りに来られる方がいらつしゃいましたら、お伝えいたたくようお願致します。

また、お知り合いの方にも、長沼禅苑にお参りに来られる方がいらつしゃいましたら、お伝えいたたくようお願致します。



長沼禅苑では、利用者の方が安心・安全に気持ちよく来苑しお参りできる様心がけております。皆様の率直なご意見・ご感想をお聞かせ下さい。メール：na-support@naganumazenen.com

定例開催

※開催日は変更となる場合があります。事前に確認ください。

○坐禅・写経の会

毎月第二・第四日曜日 午前九時

○梅花流詠歌教室

毎月第一・第三火曜日 午後一時

○お筆教室

毎週土曜日 午前九時三十分

お問合せは長沼禅苑まで

TEL 〇一八八七三―七二三二
FAX 〇一八八七三―七二三三